



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年男子準々決勝

主審 福岡 敏徳 (長崎)

副審 岩尾 圭治 (熊本)

福岡 105

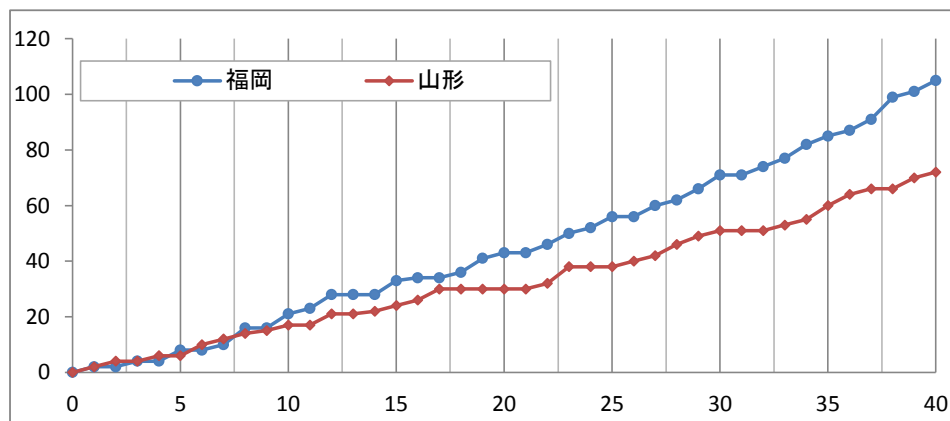
○

21 - 17  
22 - 13  
28 - 21  
34 - 21  
-

72 山形

●

No. 20A-3 日時: 2014年10月20日(月) 15:15 会場: 長崎県立総合体育館



### 福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 濱田 健太 (C)	11	2	1	3	3	2	1
5	秋山 皓太	3	1	0	0	1	1	0
6	* 井手 優希	0	0	0	0	0	2	2
7	鳥羽 陽介	6	2	0	0	1	2	4
8	武藤 海斗	13	3	1	2	2	1	2
9	* 津山 尚大	21	3	5	2	0	2	3
10	牧 隼利	6	0	3	0	2	4	5
11	* 増田 啓介	16	0	8	0	2	7	2
12	河野 佑太	12	0	5	2	3	10	0
13	張 効広	11	0	5	1	1	3	0
14	* 野口 夏来	6	0	3	0	2	4	0
コーチ	井手口 孝					0		
合計		105	11	31	10	17	38	19

### 山形

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	大戸 克俊 (C)	2	0	1	0	1	0	0
5	* 會田 遼太	6	0	2	2	2	2	4
6	* 熊澤 圭祐	22	1	7	5	1	3	0
7	* 前田 悟	22	0	9	4	1	5	1
8	* 高橋 丈一郎	4	0	2	0	3	6	0
9	高橋 史弥	0	0	0	0	0	2	0
10	工藤 直人	10	0	3	4	1	1	0
11	仁藤 洸太	2	0	1	0	1	0	0
12	尾形 祐甫	0	0	0	0	2	2	0
13	* 三浦 望	4	0	2	0	3	4	0
14	岸 隼杜	0	0	0	0	1	1	0
コーチ	細谷 尚寿					0		
合計		72	1	27	15	16	26	5

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

### 戦評

準々決勝、福岡県対山形県。1Q、福岡県はハーフコートマンツーマン、山形県はオールコートマンツーマンでスタート。福岡県は#11のリバウンド、ゴール下シュートで得点する。山形県は#7のジャンプシュート、#6のリバウンドシュートで応戦するが、福岡県#4の3P、#9のジャンプシュートが決まり、21-17福岡県リードで終了。2Q、山形県はゾーンディフェンスに変え、流れを掴もうとするが、福岡県#14のゴール下シュート、#9のドライブなどで点差が開きだす。残り1分、福岡県#7の3Pが決まったところで山形県タイムアウト。前半43-30、福岡県リードで折り返す。

3Q、山形県は、オールコートマンツーマンで追い上げようとするが、福岡県#11、#12のリバウンド、ゴール下シュートなどで71-51とさらに点差が開き終了。

4Q、山形県は#6、#7の1対1で何とか点差を縮めたいが、福岡県は#7、#8、#5の3Pなどでそれを許さない。残り5分、85-60で山形県のタイムアウト。その後も山形県は#5のジャンプシュート、#10のドライブなどで得点するが、福岡県も#12、#13のリバウンド、ゴール下シュート、速攻なども決まりさらに点差が開く。山形県は最後まで健闘したが、総合的に勝る福岡県が105-72で準決勝進出を決めた。

記者 村里 和久 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技  
**競技記録**

少年男子準々決勝

主審 山崎 仁士 (大阪)  
副審 大久保 好純 (長崎)

茨城 80

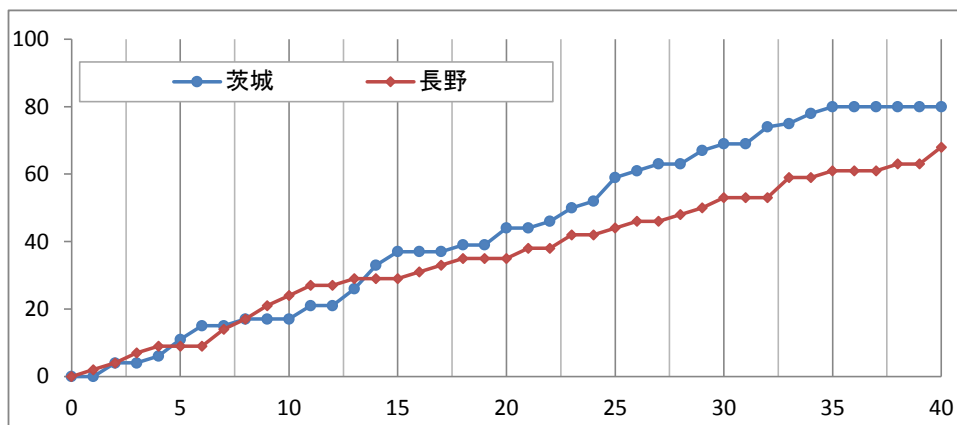
○

17 - 24  
27 - 11  
25 - 18  
11 - 15  
-

68 長野

●

No. 20B-3 日時: 2014年10月20日(月) 15:15 会場: 長崎県立総合体育館



## 茨城

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 本村 亮輔 (C)	19	3	5	0	0	4	5
5	* 青木 裕哉	3	1	0	0	0	3	2
6	軍司 泰人	6	0	3	0	1	4	0
7	野口 勇樹	0	0	0	0	1	0	0
8	松脇 圭志	6	0	2	2	3	1	1
9	* 山崎 純	12	0	4	4	2	2	6
10	杉本 天昇	0	0	0	0	0	0	0
11	黒田 将弘	0	0	0	0	0	0	0
12	菅原 暉	0	0	0	0	0	0	0
13	* 松本 紘希	20	0	10	0	2	7	0
14	* 平岩 玄	14	0	7	0	3	11	0
コーチ	佐藤 豊文					0		
合計		80	4	31	6	12	32	14

## 長野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山梨 歩 (C)	22	2	8	0	0	1	1
5	* 鶴田 美勇士	8	0	3	2	1	4	0
6	矢島 達也	0	0	0	0	0	0	0
7	竹田 寛人	-	-	-	-	-	-	-
8	瀧澤 賢志	0	0	0	0	0	0	0
9	* 笹倉 裕寿	14	1	5	1	2	6	0
10	石井 聖大	6	0	3	0	0	11	1
11	* 高橋 亮	12	1	4	1	3	4	2
12	* 林 瑛司	6	1	1	1	2	10	0
13	松本 陵雅	0	0	0	0	0	0	0
14	須崎 虎太郎	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	入野 貴幸					0		
合計		68	5	24	5	8	36	4

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

準々決勝、茨城県対長野県。1Q、両チームともマンツーマンでスタート。序盤は両チーム一進一退の展開で進むが、茨城県が#14のゴール下シュートや#4の速攻で得点する。対する長野県は#4のミドルシュートと#11の3Pなどで攻撃を展開していき、24-17長野県が7点リードで終了。2Q、茨城県はインサイドにボールを集め#13、#14が得点し、残り6分#4の3Pで31-29と逆転。たまたらず長野県タイムアウトを取りディフェンスをゾーンプレスに変え、#5のゴール下シュート、#4のドライブなどで得点する。しかし、茨城県の勢いは止まらず、#4の2連続ミドルシュート、#6ゴール下シュート、さらに終了間際、相手チームのファウルから#9が3本のフリースローを決め、前半を44-35の茨城県9点リードで折り返す。

3Q、茨城県はマンツーマン、長野県はゾーン。長野県は#4の3P、#5のゴール下、#9のドライブで得点。対する茨城県はディフェンスで長野県のポイントガードに圧力をかけ、速攻から#13が4連続ゴールで突き放す。その後も茨城県が優位に試合を進め、69-53茨城県16点リードで終了。4Q、長野県はオールコートのプレスディフェンスに変え反撃を試みるが茨城県の勢いはそのまま。結局80-68で茨城県が勝利を収め、準決勝進出を決めた。

茨城県の底力が勝った試合だったが、果敢に戦った長野県の粘りも称えたい。

記事者 織田 功 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

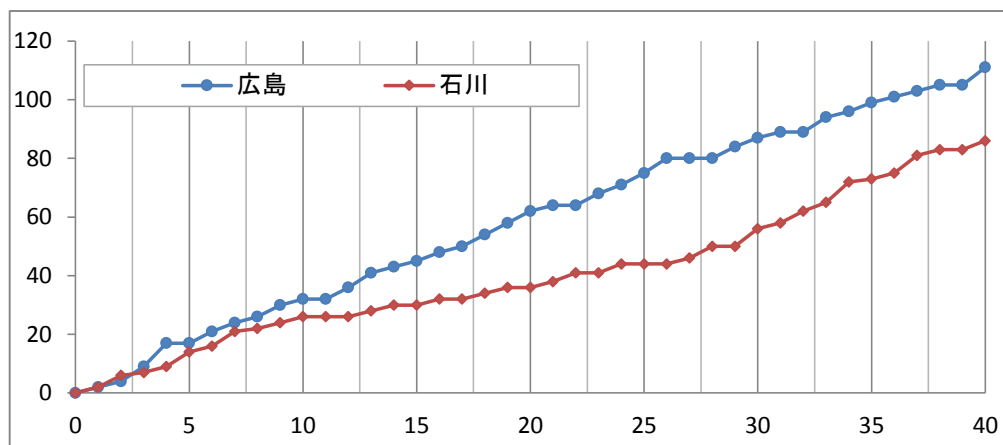
## 競技記録

少年男子準々決勝

主審 緒方 崇 (東京)  
副審 森田 将史 (長崎)

広島 111 ○ 86 ● 石川

No. 20C-3 日時: 2014年10月20日(月) 15:15 会場: 長崎県立総合体育館



### 広島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐々井 雄大 (C)	16	0	6	4	2	2	6
5	* 山崎 翔梧	37	7	6	4	2	5	3
6	* 小栗 尚幸	12	0	6	0	3	11	4
7	豊田 湧一朗	2	0	1	0	0	0	1
8	* 吉崎 綾汰	24	2	8	2	4	9	4
9	茂刈 皇希	0	0	0	0	0	0	0
10	檜作 昌慶	10	0	5	0	0	3	0
11	松浦 慎哉	0	0	0	0	0	0	0
12	* 伊森 響一郎	10	0	5	0	1	8	1
13	江尻 駿也	0	0	0	0	0	0	1
14	河野 拓海	0	0	0	0	1	0	1
コーチ	藤井 貴康					0		
合計		111	9	37	10	13	38	21

### 石川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	朝倉 翼 (C)	2	0	1	0	1	4	4
5	* 濱高 康明	14	2	4	0	2	6	2
6	山瀬 翔平	3	1	0	0	1	1	0
7	* 涌波 茄生	8	0	3	2	3	4	4
8	* 高澤 慎太郎	9	1	2	2	0	6	2
9	請田 佳彦	4	0	2	0	0	0	1
10	* 大倉 龍之介	23	1	6	8	2	4	1
11	酒井 達晶	5	1	1	0	1	4	4
12	* 古村 健一	16	0	8	0	2	7	0
13	石垣 駿	2	0	1	0	0	4	0
14	小室 悠太郎	0	0	0	0	1	0	0
コーチ	黒坂 昭弘					0		
合計		86	6	28	12	13	40	18

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

準々決勝、広島県対石川県。1Q、双方マンツーマン。開始直後、石川県#10、#12のシュートが決まる、広島県は#6、#5のシュートが決まり、広島県が16-9と一歩リード。開始4分、石川県タイムアウト。その後石川県は#8の3Pシュートなどで巻き返すが、広島県の#8、#5の3Pが決まり、32-26広島県リード。2Q、石川県のシュートがなかなか決まらずミスが目立ち、開始3分ノーゴールで前半2回目のタイムアウト。石川県は#10や#12を起点に攻め続けるが、広島県#5の3本目の3Pや#12のミドルシュートなどで点差を広げ、残り3分で18点差となった。その後も広島県の猛攻が続き62-36広島県リード。3Q、石川県はオールコートゾーンプレスで必死に追い上げをはかるが、広島県は#5のドライブやジャンプシュート、3Pが決まり完全に主導権を握る。石川県は、#12、#10の速攻からのシュートで粘るが、攻守に力強いプレイを見せた広島県がさらに点差を広げ87-56。4Qになっても流れは変わらず、石川県も懸命に追いかけるが、点差を詰めるに至らない。結局、石川県を攻守に圧倒した広島県が、111対86で見事に準決勝進出を決めた。

記載者 三根 正美 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

## 第69回国民体育大会 バスケットボール競技 競技記録

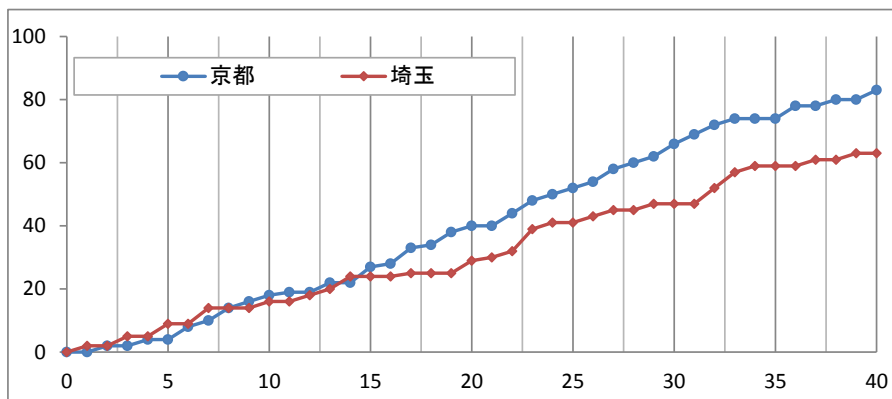
少年男子準々決勝

主審 松本 究 (佐賀)  
副審 伊藤 彰二 (福岡)

京都 83 63 埼玉

○ (18-16)  
(22-13)  
(26-18)  
● (17-16)  
-

No. 20D-3 日時: 2014年10月20日(月) 15:15 会場: 長崎市民体育館



### 京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 村井 大陸 (C)	4	0	2	0	1	4	5
5	* 菅 祐史	1	0	0	1	1	4	1
6	富田 頼	21	0	10	1	1	4	1
7	* 澤田 絢以	4	0	1	2	0	4	0
8	* 岡田 卓也	0	0	0	0	1	0	1
9	高田 颯斗	3	0	1	1	0	0	0
10	山口 直紀	0	0	0	0	0	1	0
11	寺嶋 良	19	1	5	6	0	7	2
12	荒川 颯	9	1	3	0	1	1	1
13	* 田邊 陸也	20	0	8	4	1	17	1
14	鈴木 悠介	2	0	1	0	1	2	0
コーチ 吉田 裕司						0		
合計		83	2	31	15	7	44	12

### 埼玉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 波多 智也 (C)	18	0	8	2	4	6	3
5	奥住 将人	15	3	3	0	0	4	2
6	* 斎藤 弥羅	4	0	2	0	4	9	1
7	村上 飛雄馬	0	0	0	0	1	0	1
8	田村 敦哉	-	-	-	-	-	-	-
9	御嶽 祐之介	3	1	0	0	3	6	0
10	八木 翼	-	-	-	-	-	-	-
11	* 足立 義輝	6	0	3	0	5	4	2
12	* 高橋 颯人	2	0	1	0	1	0	1
13	* 竹内 悠貴	11	0	4	3	4	10	0
14	五十嵐 正也	4	0	2	0	2	2	2
コーチ 大久保 英人						0		
合計		63	4	23	5	24	41	12

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

### 戦評

準々決勝京都府対埼玉県。3回戦をともに危なげなく勝ち進んだ両チームの対戦は、1Q両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。埼玉#4のジャンプシュートで先制すると、京都も速攻から#7のシュートで一歩も譲らない。終了間際、京都#13が鮮やかなタップシュートを決め、18-16で1Q終了。2Q、流れをつかみたい両チームは、激しいディフェンスでミスを誘う。埼玉は#4のドライブから#13への合わせで得点し、一進一退の攻防は続く。中盤、京都の速い攻めにファウルが続いた埼玉が、27-24となった残り4分、1回目のタイムアウト。埼玉は3-2ゾーンディフェンスに切り替え、京都の速いオフェンスに対抗するが、京都#5の力強いパワープレイに埼玉#13が3つ目のファウルを犯し、ベンチに退く苦しい展開。高さで優位に立った京都がリバウンドを支配し始め、点差が開き始める。36-25となった残り1分、埼玉は2回目のタイムアウト。両チームともマンツーマンで厳しいディフェンスを仕掛け、40-29で前半終了。3Q、埼玉は#4が連続得点し、差を詰めにかかる。京都も#13がドライブインからバスケットカウントを決め、簡単には主導権を渡さない。埼玉は#13のアウトサイドシュートと#4の個人技で踏ん張るが、京都も#13のドライブインなどで得点し、66-47で3Q終了。4Q、後がない埼玉は#4を中心に京都ゴールを狙うが、4つ目となるオフェンスファウルを取られベンチに下がる苦しい展開。埼玉は#11のジャンプシュートや#9の3Pで追い上げを図るが、なかなか点差が縮まらない。終盤、諦めない埼玉の必死のディフェンスにも落ち着いてゲームをコントロールした京都が83-63で勝利した。

記者 吉野 聖司 (所属) 長崎県バスケットボール協会